

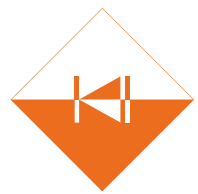
△ KINGLISH

第二十五回

カップケーキ編 (応用その1)

助動詞とはなにか？

断定と推測を基に理解する

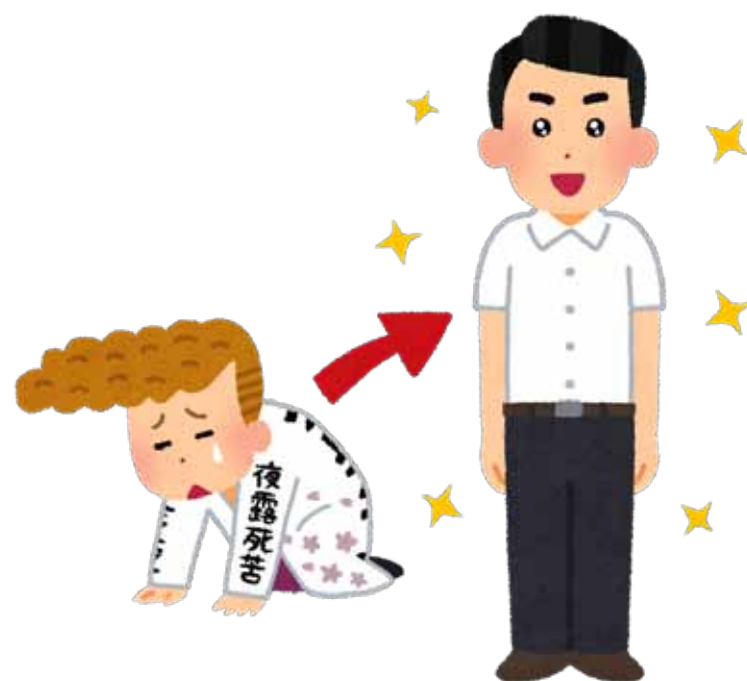


第二十五回 カップケーキ編 (応用その1)

助動詞とは何か

助動詞を使わない表現は事実を示し、
助動詞を使う表現は推測を表現できる

- 事実とは行われた真実のこと。
- 事実なのか判断できないことは、推測として捉えられる。
- 助動詞は事実と断定できない物事を、話し手が推測する際に使う。

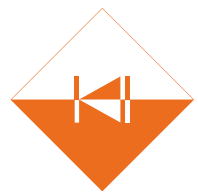


- POINTS ▶▶▶
- 助動詞は動詞に推測の意味を加える。
 - 推測とは事実なのかわからない事。
 - 話し手の意志により表現が変化する。

文章の全体像を見た時の 助動詞の位置



常に動詞の前に現れる。一般動詞の否定文、推測を表す表現をする時に用いられる。



第二十五回 カップケーキ編 (応用その1)

助動詞の早見表

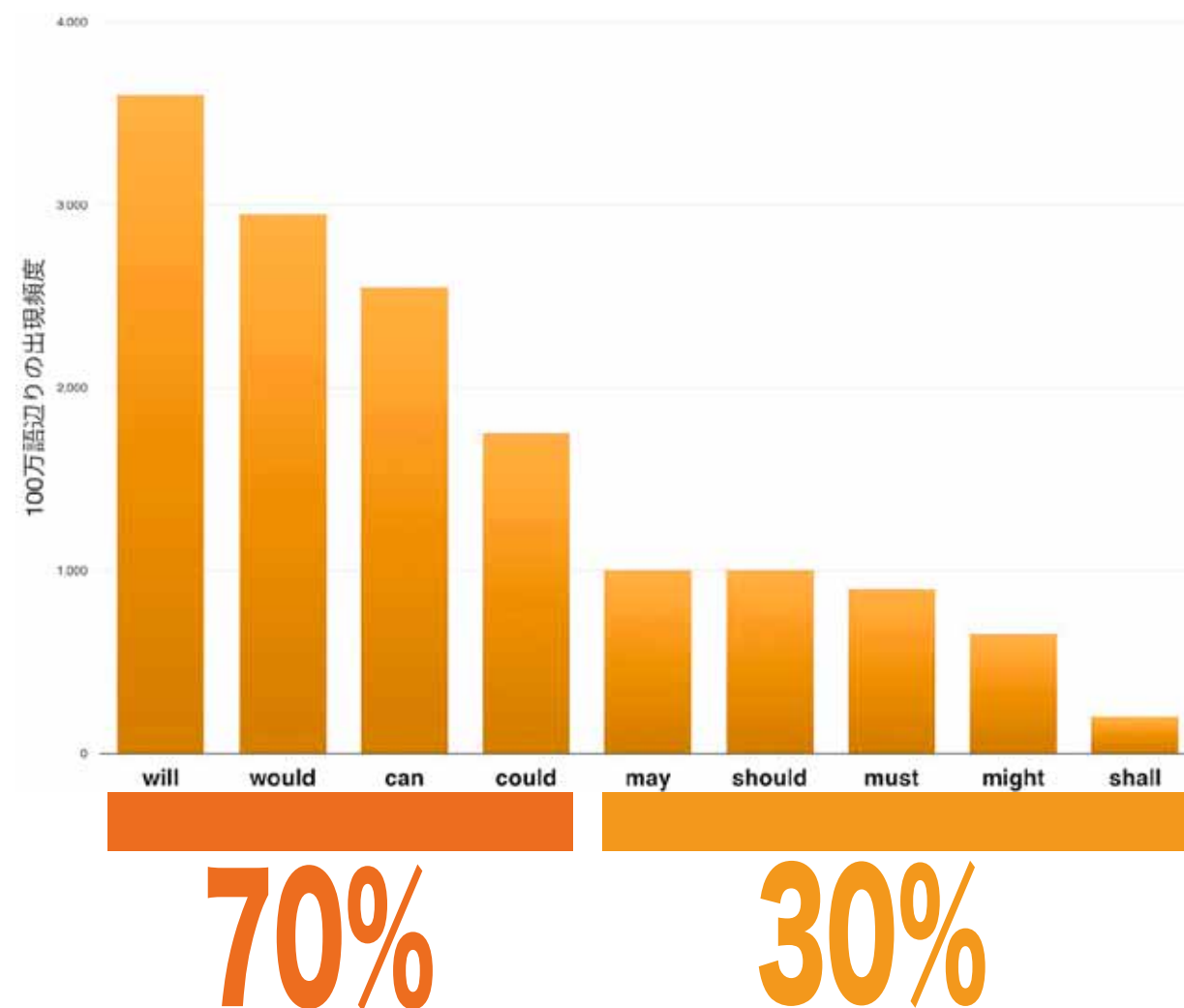
助動詞を使う表現は話し手の推測の程度を表す。

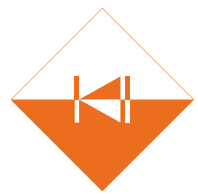
will	強い意志
would	控えめな意志
can	実現が可能
could	実現可能か不明
may	妨げるものがない
might	可能性がある
shall	何かを背負っている
should	義務感
must	強制

- 推測の程度は場面によって異なる。
- 程度の基準は話し手の主観で判断をする。
- 上にあげた9つの助動詞はそれぞれ違った意味を持ち、推測を様々な角度で表すことで使い分ける。

- POINTS ▶▶▶
- 助動詞は動詞に推測の意味を加える。
 - 推測とは事実なのかわからない事。
 - 話し手の意志により表現が変化する。

助動詞の使用頻度を
グラフ化するとこのようになる。





グラフの中でも特に使用頻度の高い
4つの助動詞

- **will (強い意志)**
- **would (控えめな意志)**
- **can (実現可能)**
- **could (実現可能か不明)**



- POINTS ▶▶▶
- 助動詞は動詞に推測の意味を加える。
 - 推測とは事実なのかわからない事。
 - 話し手の意志により表現が変化する。

will (強い意志)

- 基本イメージは強い意志。
- ほぼ確定的な推測、未来を指す時に使われる。
- be going to に置き換えることが可能。

would (控えめな意志)

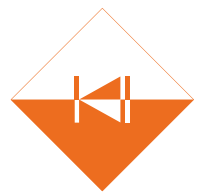
- 基本イメージは控えめな意志。
- will の過去形としても使われる。
- will にはない特有の意味を持つことも多い。

can (実現可能)

- 基本イメージは実現が可能。
- 状況、可能性、能力から行動が実現可能である。
- be able to に置き換えることが可能。

could (実現可能か不明)

- 基本イメージは実現が可能かわからない。
- can の過去形としても使われる。
- 提案や質問を丁寧に表現することができる。



第二十五回 カップケーキ編 (応用その1)

will の使用方法の一覧

will には様々な用法がある。

3つの項目に分けて解説する。

- ほぼ確実に実現する確かな未来
- 命令口調の依頼、申し出
- be going to との違い



- POINTS ▶▶▶
- 助動詞は動詞に推測の意味を加える。
 - 推測とは事実なのかわからない事。
 - 話し手の意志により表現が変化する。

• ほぼ確実に実現する確かな未来。

実現可能性の高い将来を表す。

基本イメージ「強い意志」により、未来の確からしさを話し手が確信している。

I will visit Japan next year.

私は来年日本に旅行に行くだろう。



I



will
visit



Japan

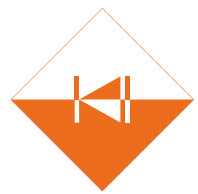


next year.

They **won't** get a passport till tomorrow.

彼らは明日までにパスポートは取れないだろう。

※ **won't** は **will not** を短縮した形。



・命令口調の依頼、申し出

will を使う申し出は「強い意志」のイメージ。
相手がそれを当然行ってくれると期待する。
やや上から目線のニュアンスが含まれる。

Will you leave the room?

この部屋を出て行ってくれないか？



Will you leave the room?

※丁寧な表現をする時は **would** や **could** を使う。

Would/Could you leave the room?

この部屋を出て行ってくれないませんか？

- POINTS ▶▶▶
- 助動詞は動詞に推測の意味を加える。
 - 推測とは事実なのかわからない事。
 - 話し手の意志により表現が変化する。

・be going to との違い。

will は実現可能性の高い将来を「推測」する。
あくまで未来の予測でしかない。

be going to は「事実」を表す一般動詞。
「行われている最中」の ing と
「目的に向かう」の to が組み合わさった形

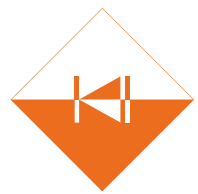
He **will** have a cat. / She **is going to** have a cat.

彼／彼女は猫を飼うだろう。



I will have a cat.

I'm going to have a cat.



第二十五回 カップケーキ編 (応用その1)

will, be going to, ing の違い。

POINTS ▶▶▶

- 助動詞は動詞に推測の意味を加える。
- 推測とは事実なのかわからない事。
- 話し手の意志により表現が変化する。

未来を表す表現は三つあり、
それぞれに違ったイメージがある。

- will は強い意志、気持ちがあるだけ。
- going toはその行動に向かう準備段階。
- ingはその行動を行える状態にいる。

will

思いつき
(強い意志)

be going to

決心したが、準備は未完了
(study までの距離がある)

ing

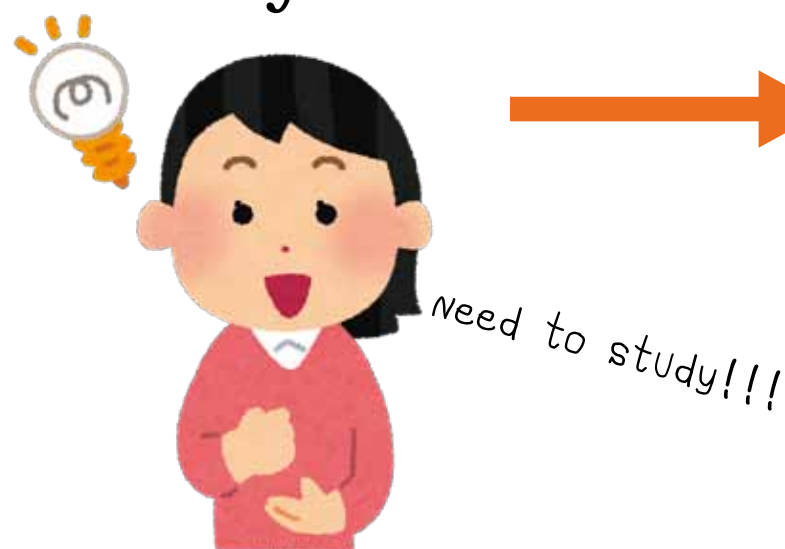
準備済みだが、学習は未完了
(study までの距離がない)

I will study...

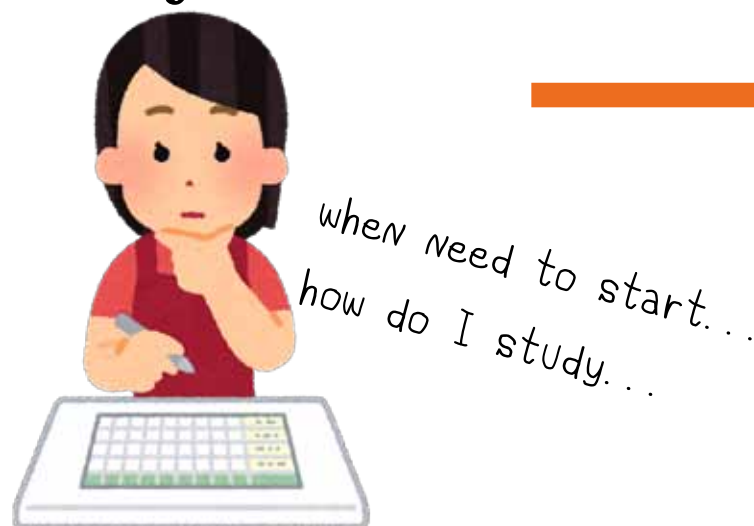
I am going to study...

I am studying...

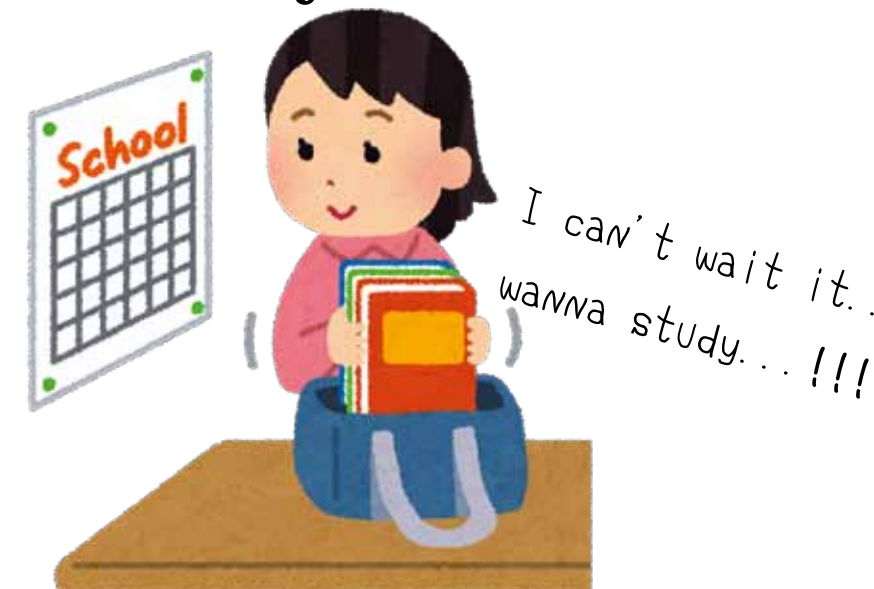
Day 1

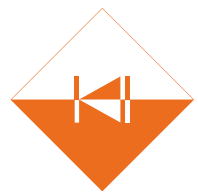


Day 3



Day 7





第二十五回 カップケーキ編 (応用その1)

would の使用方法の一覧

would には様々な用法がある。

3つの項目に分けて解説する。

- 謙虚さ、控えめな意志
- will と would の時制
- 丁寧な依頼、申し出、願望



- POINTS ▶▶▶
- 助動詞は動詞に推測の意味を加える。
 - 推測とは事実なのかわからない事。
 - 話し手の意志により表現が変化する。

• 謙虚さ、控えめな意志

謙虚な態度や姿勢を表す事ができる。

基本イメージの「控えめな意志」から実現可能かわからない事に使われる。

I would say no.

違うと思います。



I



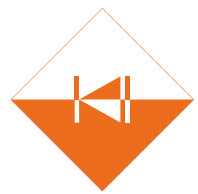
would
say



No

I would prefer a cup of tea.

紅茶をいただきたいです。



第二十五回 カップケーキ編 (応用その1)

would の使用方法の一覧

・will と would の時制

will の基本イメージ「強い意志」から
実現可能性の高い将来を表す。

would の基本イメージは「控えめな意志」、
過去の段階で実現しようとした将来をあらわ
すが、実現したかは定かではない。

She **will** go to the library tomorrow.

彼女は明日図書館に行くだろう。(強い意志)

She **would** go to the library yesterday.

彼女は昨日図書館に行こうとしていた。
(控えめな意志。本当に行ったかは定かでない。)

POINTS

- 助動詞は動詞に推測の意味を加える。
- 推測とは事実なのかわからない事。
- 話し手の意志により表現が変化する。

・丁寧な依頼、申し出、願望

「控えめな意志」の基本イメージから
丁寧さを伴った形で相手に何かを尋ねられる
きちんとした依頼・申し出に好まれる。

would は like と共に用いることで、願望を表
すこともできる。

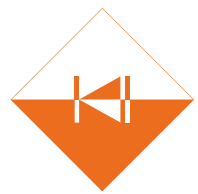
Would you like some milk?

ミルクは必要ですか？

I would like to copy the documents.

この書類をコピーしたいのですが





can には様々な用法がある。

3つの項目に分けて解説する。

- 実現可能な能力、可能性がある。
- ややカジュアルな依頼や許可
- be able to との違い



- POINTS ▶▶▶
- 助動詞は動詞に推測の意味を加える。
 - 推測とは事実なのかわからない事。
 - 話し手の意志により表現が変化する。

• 実現可能な能力、可能性がある。

基本イメージに「実現が可能」がある。

人やモノの能力が実現できることを表す。

「実現可能な状況に使うと物事が起こりうる可能性を表す事も可能。

I can cook miso soup.

私は味噌汁を作ることができる。



S

I



V

can
cook

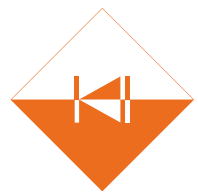


O

miso soup

Working can be a real pleasure.

労働は真の喜びになり得る。



第二十五回 カップケーキ編 (応用その1)

can の使用方法の一覧

・ややカジュアルな依頼や許可

can を使う申し出は「実現可能」のイメージ。直接的な表現のため、親しい間柄でない限り使うべきではない。

Can you pass me the salt?

その塩を取ってもらってもいい？



Can
you

pass

me

the salt?

※丁寧な表現をする時は **would** や **could** を使う。

Would/Could you pass me the salt?

その塩を取ってもらってもいいですか？

POINTS ▶▶▶

- 助動詞は動詞に推測の意味を加える。
- 推測とは事実なのかわからない事。
- 話し手の意志により表現が変化する。

・be able to との違い。

can の「実現可能」には身体的能力だけでなく、状況・場面的な可能性も含む。

be able to は能力としての可能性に限られる。能力以外の場合に be able to を使うことは、通常あまり考えられない。

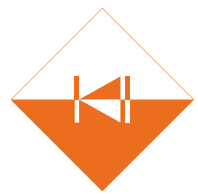
Autumn can gather people who have an interest of hikig.

秋はハイキングが趣味の人々を集める。

※ **be able to** は人やモノの能力にしか使えない。

can は実現可能ならば対象は問わず使えるため、can の方が広域で使う事が可能。





第二十五回 カップケーキ編 (応用その1)

could の使用方法の一覧

could には様々な用法がある。

3つの項目に分けて解説する。

- 実現可能かわからない
- can と could の時制
- 丁寧な依頼、申し出、願望



- POINTS 》》》
- 助動詞は動詞に推測の意味を加える。
 - 推測とは事実なのかわからない事。
 - 話し手の意志により表現が変化する。

• 実現可能かわからない

基本イメージは「実現可能か不明」

過去にできたが今はわからない事や、確信のない事に使われる。

It **could** be the reason.

それが理由なのかもかもしれない。



It



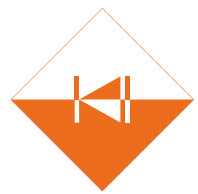
could
be



the reason

She **could** run faster than anyone else.

彼女は誰よりも速く走ることができた。



第二十五回 カップケーキ編 (応用その1)

could の使用方法の一覧

・can と could の時制

can の基本イメージ「実現可能」から
確信の強い推測になる。

could の基本イメージは「実現可能か不明」、
過去の段階で実現できた事実があるが、
今現在実現可能かは定かではない。

I can go into the bulding as a staff.

私はそのビルに従業員として入る事ができる。
(**実現可能な状態に今いる。**)

We couldn't go into the bulding after 7pm.

私たちはそのビルに7時以降入れなかった。
(**昔はできなかったが、今はどうかかわからない。**)

POINTS

- 助動詞は動詞に推測の意味を加える。
- 推測とは事実なのかわからない事。
- 話し手の意志により表現が変化する。

・丁寧な依頼、申し出、願望

「実現可能か不明」のニュアンスがあるため、
can よりはるかに丁寧な印象になる。

提案、依頼なども Could を使うと丁寧な印象
になる。

Would と近いニュアンスになるため交換も可
能。

Could you fill in these blanks please?

空白を埋めてもらってもよろしいでしょうか？

